

対象年度		令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		保育士人材確保事業						予算事業名		保育士人材確保事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
				03	02	01	2501	経常経費							
総合計画体系		みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指す						事業の区分		主要事業(6次総非掲載)					
		未来を担う子どもを育む環境づくり													
		保育環境の充実						担当課係等		子ども福祉課					
						保育係									
事業期間		継続 (令和 4年度～ 年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
待機児童対策及び保育の担い手の確保のため、保育士資格の新規取得者の確保、保育士の継続就労支援、潜在保育士の再就職支援を行う。								年度途中の待機児童が発生しており、その原因の一つに保育士不足による受け皿の不足があり、他市においては同様の事業が既に開始されている。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
①新卒保育士確保のため、就労支援事業補助金(就職祝金)により、市内保育所等に就職した新卒保育士に祝金を支給 ②安定的な雇用確保のため、就労支援事業補助金(家賃補助)により、補助金を支給 ③新卒及び潜在保育士等の確保のため、就職合同フェア・保育施設見学ツアーを開催する								市内保育所等に就職する保育士、保育の担い手の確保を目指す幼児教育・保育施設							
								【事業をとりまく環境の変化】							
								全国的に保育士が売り手市場になっており、市内保育所等の保育士の確保が年々困難になってきている。							
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】							
・補助金の交付(就職祝金・家賃補助) ・PR活動 (チラシ作成及び学校への送付等) ・就職合同フェアの開催				・補助金の交付(就職祝金・家賃補助) ・PR活動 (チラシ作成及び学校への送付等) ・就職合同フェアの開催				・補助金の交付(就職祝金・家賃補助) ・PR活動 (チラシ作成及び学校への送付等) ・就職合同フェアの開催							
■事業費															
				R03年度		R04年度									
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	0	2,318								
歳入計(千円)				0		2,318									
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)			金額(千円)								
	08	旅費			0			13							
	10	需用費			0			96							
	11	役務費			0			1							
	13	使用料及び賃借料			0			8							
	18	負担金補助及び交付金			0			2,200							
歳出計(千円)(A)				0		2,318									
伸び率(%)						皆増									
備考	総合計画 ページ 予算書 98ページ														

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	就労支援補助金の支給	人	目標	0.00	12.00	12.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	就職フェアの開催	回	目標	0.00	1.00	1.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	支給者の継続就労者	人	目標	0.00	12.00	12.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	フェア参加者からの市内保育施設就職者	人	目標	0.00	3.00	3.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	現状保育士が不足している以上、保育人材確保策は必要。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	保育の実施主体が市である以上、行政が実施するもの。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	妥当ではあるが、一部内容に事業委託の検討の余地あり。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	準備等に人手と時間がかかる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	直接的な受益者は限られるが、継続就労すれば市に有益である。
有効性	成果向上の余地		
進捗度	事業の進捗		
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
令和4年度における事業実績や参加者の意見を受け、改善・改革をしていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 令和4年度から開始した事業であるため、実績や保育施設の声の把握に努め、今後の事業展開に活かしていく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	